

第15回 十勝川千代田実験水路等実験アドバイザー委員会 第21回 十勝川千代田実験水路等実験検討会

十勝川千代田実験水路等実験アドバイザー委員会および
十勝川千代田実験水路等実験検討会を3月10日に開催しました。

北海道開発局では、平成19年4月から運用を開始した十勝川千代田新水路の一部を、河川整備を進めていく上で解明すべき様々な技術的な課題に関する実験研究を行う実物大実験水路として活用しています。十勝川千代田実験水路等実験アドバイザー委員会は、実験水路において実施する実験研究に関して、河川工学等の専門的な立場から助言をいただくものです。また、十勝川千代田実験水路等実験検討会は、専門の学識者等により、実験水路において実施する実験内容に関し、原案の作成や結果の取りまとめを行うものです。

この度、第15回十勝川千代田実験水路等実験アドバイザー委員会および第21回 十勝川千代田実験水路等実験検討会を下記の内容で開催しました。

【委員会の開催日時等】

- ・ 日 時：令和3年3月10日 15:00～17:00
Web会議による開催



委員会の様子

十勝川千代田実験水路等実験アドバイザー委員会の委員名簿 (令和3年3月10日現在)

区分	氏名	所属
委員	黒木 幹男	元北海道大学大学院 工学研究科 准教授
委員長	辻本 哲郎	名古屋大学 名誉教授
委員	山田 正	中央大学 理工学部 教授
委員	井田 泰蔵	国土交通省 北海道開発局 建設部 河川計画課 課長

(50音順 敬称略)

十勝川千代田実験水路等実験検討会の委員名簿 (令和3年3月10日現在)

区分	氏名	所属
委員	泉 典洋	北海道大学大学院 工学研究院 土木工学部門 教授
委員	巖倉 啓子	土木研究所寒地土木研究所 水環境保全チーム 上席研究員
委員	大串 弘哉	土木研究所寒地土木研究所 寒地河川チーム 上席研究員
委員長	清水 康行	北海道大学大学院 工学研究院 土木工学部門 教授
委員	戸田 祐嗣	名古屋大学大学院 工学研究科 土木工学専攻 教授
委員	畠山 乃	土木研究所寒地土木研究所 寒地地盤チーム 上席研究員
委員	福島 雅紀	国土技術政策総合研究所 河川研究部 河川研究室 室長
委員	山本 晶	土木研究所 水工研究グループ 水文チーム 上席研究員
委員	渡邊 康玄	北見工業大学 副学長 工学部 社会環境系 教授
委員	武田 淳史	国土交通省 北海道開発局 建設部 河川計画課 河川調整推進官

(50音順 敬称略)

第 15 回アドバイザー委員会および第 21 回実験検討会には、報道 2 社の参加がありました。事務局から、実験に向けた検討資料について報告、その後委員により活発な意見交換が行われました。

【第 15 回アドバイザー委員会および第 21 回実験検討会の議題】

(1) 千代田現地実験に向けた検討

十勝川千代田実験水路等実験アドバイザー委員会および実験検討会の主な意見

(1) 千代田現地実験に向けた検討について

- 実験水路の平面形状について、低水路法線と堤防法線が平行なのは、最も危険側の条件で設定しているということか。
- 近年の洪水による被災状況、気候変動の影響を踏まえ、実験の目的を整理すること。
- 数値解析と模型実験における堤防侵食までの時間差については模型実験で見られた水路下流端水位の堰上げも影響しているのではないかと考えられる。
- 千代田現地実験で観測する項目とその活用の目的をすること。
- 千代田現地実験では各観測を連続的ではなく毎正時毎に 1 回などの観測となっているが、連続的に観測する項目を検討したほうがよい。
- 湾曲部における高水敷の高さの違いによる検証も実施した方がよいのではないか。
- 水位の欠測がないよう、ダイバー式水位計が埋没、洗堀で流出しないよう設置位置を検討したほうがよい。
- 低水護岸に設置する加速度センサーは護岸の挙動が把握できるように設置個数を増やすなど工夫したほうがよい。
- 直線部の流砂量を観測し流砂量式との整合を確認するとよい。
- 千代田現地実験において堤防侵食実験で生じる現象や侵食による決壊が起こっているのかを数値解析等で確認するとよい。
- 加速度センサーは 10 年前ぐらいから使用しているが、加速度センサーに代わる観測機器がないか最新技術を確認してみたほうがよい。

今 後 の 予 定

- ◇ 今回の「第 15 回 十勝川千代田実験水路等実験アドバイザー委員会」および「第 21 回 十勝川千代田実験水路等実験検討会」で了承された事項や助言を踏まえて、今後の十勝川千代田実験水路における実験計画に反映します。